

【国の次期総合戦略に関する方向性】

<現行総合戦略の4つの基本目標>

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(国の資料「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019 について」から抜粋)

- ◆従来の枠組を維持しつつ、必要な強化
 - ・「地方への新しいひとの流れをつくる」の取組の強化
 - ・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、子ども・子育て本部等と連携
- ◆「人材を育て活かす」、「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
- ◆新たな視点に重点をおいて施策を推進
- ◆新しい時代の流れを力にする (Society5.0 等)、人材を育て活かす等

2019(令和元)年12月策定予定

<第2期総合戦略での4つの基本目標(予定)>

1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【県の次期総合戦略に関する方向性】

<現行県総合戦略の4つの基本目標>

- 基本目標1
県内にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 基本目標2
神奈川への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4
活力と魅力あふれるまちづくりを進める

(神奈川県地方創生推進会議 総合戦略推進評価部会で示された資料から抜粋)

- ◆国が第2期「総合戦略」で新たに追加した視点は、可能な限り第2期「県総合戦略」にも反映する。
- ◆「かながわグランドデザイン第3期実施計画」における重点施策で、第1期「県総合戦略」に盛り込まれていない、もしくは内容が不十分な施策については、第2期「県総合戦略」に反映する。
- ◆第1期「県総合戦略」の取り組みを進める中で神奈川県地方創生推進会議から受けた指摘事項などを反映する。

2020
(令和2)年
3月末
策定
予定

大和市版総合戦略(計画期間:平成27~令和元年度)の計画体系

≫「自然増」を促していくことを基本としつつ、「社会増」に関わる取組も人口減少対策の両輪として進めることとしたうえで、国、県の総合戦略を踏まえながら、4つの基本目標を柱として定めた。

■基本目標Ⅰ 結婚から出産、子育てが楽しくなるまち

個別目標1 出産しやすいまち・出産の希望がかなうまちにする

- ①希望する人が子どもを産んで仕事に復帰できるようにする
- ②出産・子育ての不安・悩み・負担を取り除く
- ③出産にかかる経済的負担を軽減する

個別目標2 子育てしやすいまち・子育てしたくなるまちにする

- ①働くママ・パパをサポートする
- ②子育て等に関する情報を分かりやすく伝える
- ③子育てにかかる経済的負担や身体的負担を軽減する
- ④大和で生まれ・学べて良かったと感じられる子育て・教育環境を確保する

個別目標3 結婚しやすいまち・結婚したくなるまちにする

- ①結婚へとつながる支援のあり方を検討する

■基本目標Ⅱ 安全・安心で、時代を先取りしている楽しいまち

個別目標1 いつまでも健康でいられるまちにする

- ①健康寿命の延伸を図る
- ②スポーツを推進する

個別目標2 楽しく外出できるまちにする

- ①新たなコミュニティバス利用の提案
- ②親子で出かけたくなるまちにする
- ③ぷらっと出かけたくなるまちにする

個別目標3 子どもから大人まで、いつまでも暮らしやすいまちにする

- ①市域全体の均衡ある発展を促すまちづくり
- ②防災・防犯力、まちの安全性を高めるとともに、市民のつながりを強める

■基本目標Ⅲ 仕事が見つかりやすく、働くことが楽しいまち

個別目標1 近くで働けるまちにする

- ①ワーク・ライフ・バランスを進める企業の支援等を行う
- ②若年層等の就労をサポートするとともに、働くことの楽しさを伝える
- ③創業・企業の支援を行う

個別目標2 いつまでも・誰もが活躍できるまちにする

- ①豊かな経験や知識を活かしてもらおう人とステージをマッチングする
- ②誰もが活躍できるまちを目指す

■基本目標Ⅳ 都心に・海に・山に近い、便利で暮らしが楽しく、富士山にも出逢えるまち

個別目標1 やまとの魅力を発信する

- ①市内・全国にまちの魅力を発信する

個別目標2 魅力的なイベントの開催・やまとの味覚を提供する

- ①このまちに住みたいと思えるイベントの開催

【次期総合戦略の方向性】

本市においては、現在も人口が増加していることを踏まえ、現行計画の大きな方向性は維持しつつ、近年の市の主な取り組みや、国・県の動向等を反映していくものとする。

【次期総合戦略の基本的な考え方】

総合計画に掲げる施策のうち、自然増と社会増を促す取り組みをバランスよく推進していくこととし、4つの基本目標を定める。

◆基本目標Ⅰについて

妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援を推進し、一層充実させることや、保育所の増設や学齢期のこどもの放課後における居場所づくりなど、働きながら子育てができる環境の充実を図ること、さらに大和で育つことができよかつと思える環境の充実など、健康都市やまと総合計画の要素を踏まえ、個別目標等を見直す。

◆基本目標Ⅱについて

さらなる少子高齢化が進展する時代においても、子どもから大人まで、みんなが楽しく過ごせるまちとなるよう、基本目標2を設定する。シリウスやポラリスなど、市民が気軽に集える「居場所」の提供・活用のほか、新たな時代の課題等へ柔軟に対応していけるよう、施策を見直す。

◆基本目標Ⅲについて

企業の誘致や既存事業所への支援、創業への支援など、働く場所の確保につながる企業活動への支援を第一の施策として掲げるほか、働きやすい企業の創出を支援する要素も踏まえ、個別目標1の施策を見直す。

◆基本目標Ⅳについて

2019年に相鉄がJR相互直通運転を開始することなどを踏まえ、基本目標の表現を「ますます便利」に改める。また、やまとの魅力をより高めることとあわせ、様々なまちの魅力をより多くの人に発信していくため、市政PR戦略係を創設し、情報発信の強化を図ったことなどを踏まえ、個別目標を見直す。

次期総合戦略の計画体系(案)

(計画期間:2020~2024年度)

※下線部は見直した箇所

■基本目標Ⅰ 子育てが楽しくなるまち

個別目標1 こどもを望んだ時から、切れ目なくサポートを受けられるまちにする

- ①妊娠・出産・子育ての不安や悩みを軽減する
- ②妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担を軽減する
- ③働くママ・パパへのサポートを充実する
- ④子育て等に関する情報を分かりやすく伝える

個別目標2 大和で生まれ、育ち、学べて良かったと感じられるまちにする

- ①こどもが思いっきり遊べる場所を増やす
- ②未来につながる学びや体験を提供する

■基本目標Ⅱ 安全・安心で、時代を先取りしている楽しいまち

個別目標1 いつまでも健康でいられるまちにする

- ①健康寿命の延伸を図る
- ②スポーツを推進する

個別目標2 気軽に・楽しく外出できるまちにする

- ①ぷらっと出かけたくなるまちにする
- ②こどもと出かけたくなるまちにする
- ③移動しやすいまちにする

個別目標3 子どもから大人まで、いつまでも暮らしやすいまちにする

- ①地域の特徴を活かしたまちづくり
- ②防災・防犯力、まちの安全性を高めるとともに、市民のつながりを強める
- ③新たな課題等へ柔軟に対応していく

■基本目標Ⅲ 仕事や活躍の場が見つかりやすく、生き生きと過ごせる楽しいまち

個別目標1 近くで働けるまちにする

- ①起業・創業も含めた企業活動の振興を図る
- ②若年層等の就労をサポートするとともに、働くことの楽しさを伝える
- ③ワーク・ライフ・バランスを進める企業の支援等を行う

個別目標2 いつまでも・誰もが活躍できるまちにする

- ①経験や知識を活かせる場や機会を充実する
- ②誰もが自分らしい生活を送ることができるまちを目指す

■基本目標Ⅳ 都心に・海に・山に近い、ますます便利で暮らしが楽しいまち

個別目標1 やまとの魅力をより高める

- ①このまちに住みたいと思えるイベントの開催
- ②やまとの味覚の提供

個別目標2 やまとの魅力をより多くの人に届ける

- ①まちの魅力を積極的に発信する